

校友ネットワーク

元気をつなぐ、変化をつなぐ

この「校友会会報」は、卒業生、在校生およびその保護者、教職員、(つまりすべての校友)をネットワークし、一人一人の熱い思いと力を「東北大学コミュニティ」へとつないでいくことを目指すものです。どこにでも出かけていって、校友の活動、キャンパスと仙台の変化などを、可能なかぎりリアルタイムでレポートしていこうと思います。情報、ご意見等をお寄せください。新しいスタイルを、一緒に作りあげていきましょう。

東北大学百周年記念会館建設へのご支援、ご尽力ありがとうございました。

館長 野家 啓一

東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」誕生

ます。建設経費は、財団法人東北大学研究教育振興財団が中心となって推進いただいた「東北大学創立100周年記念事業募金」によるものであり、多くの企業、一般市民の皆様をはじめ、卒業生、教職員といった大学関係者など数多くの方々から浄財をお寄せいただきました。

また、基本構想から設計・管理に至るまで、本学の専門家はもとより、第一線で活躍されてきた卒業生の専門家の方々にも、献身的なご尽力をいただきました。

この場をお借りして、これまでご支援、ご尽力をいただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

◆「東北大学シルベスターコンサート」を開催

◆「東北大学シルベスターコンサート」を開催

◆「東北大学シルベスターコンサート」を開催

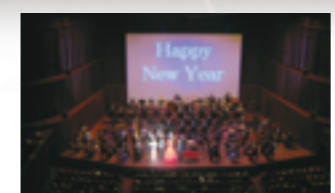
◆「東北大学シルベスターコンサート」を開催

◆「東北大学シルベスターコンサート」を開催

◆「東北大学シルベスターコンサート」を開催

◆「東北大学シルベスターコンサート」を開催

◆「東北大学シルベスターコンサート」を開催



◆ご利用につきまして

川内萩ホールは、昨年11月から一般の方々にも貸館し、以降現在までに多くのコンサート、講演会等にご利用いただいております。

大型スクリーン、同時通訳設備、最新の舞台設備等を備え、学術会議、音楽コンサートや講演会など様々なご希望にお応えすることが可能です。是非、ご利用ください。



◆会館スタッフの声

多くの皆様のご期待を受けて出発した川内萩ホールは、スタッフ全員その重大な役割を果たすにはどうしたらよいか「走りながら考え、考えながら創造する」をモットーとして、日々の会館運営に悩みながらも頑張っています。新しい事業企画も加え、これからは素晴らしいチームワークで進んでいきますので、ぜひ足を運び、ホールの素晴らしさをご体感下さい。

【問合せ先】東北大学百周年記念会館事務室
【TEL】022-795-3391
【E-mail】hagihall@bureau.tohoku.ac.jp
【URL】http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/



川内キャンパスも青葉山キャンパスも変わっています。

1964〜93年の期間、教養部が置かれていた川内は、北キャンパスが「全学教育」や「IT教育」等を受ける場所に、南キャンパスが文・教・法・経4学部・研究科の教育と研究の場所になっています。そして今、このキャンパスの整備が進められ、どんどんきれいになっています。



川内キャンパスも青葉山キャンパスも整備が進み、花や緑がますます美しくなっています



青葉山理学部キャンパスには新しい公園もできました

また青葉山も、2008年には工学部キャンパスにF1レーシングカーやクラシックカーが展示された「自動車の過去・未来館」ができ、また、理学・薬学キャンパスに公園ができるなど、変化しています。



川内北キャンパスにはくつろげる場所が増えています



工学部キャンパスの「自動車の過去・未来館」にはクラシックカーなどトヨタ自動車からの寄贈品もあります

校友会会員証で東北大学の施設がご利用できます。

校友会会員証で、附属図書館をはじめ、植物園、史料館、総合学術博物館、百周年記念会館ファカルティクラブが、ご利用いただけます。今後より多くの施設をご利用いただける等、会員証の機能を充実していきます。



▲川内南キャンパスの附属図書館は「狩野文庫」「漱石文庫」など歴史的に貴重な資料を多数所蔵している総合図書館です



川内南キャンパスの植物園は新緑から紅葉まで絶好の散策場所となります



理学部キャンパスの総合学術博物館には1日では見きれない化石や岩石の展示があります



片平キャンパスの史料館は家族に東北大学の歴史を教えるのにピッタリの場所です

- 附属図書館(川内) ☎022-795-5943
- 植物園(川内) ☎022-795-6760
- 史料館(片平) ☎022-217-5040
- 総合学術博物館(青葉山) ☎022-795-6767

Column 伊坂幸太郎さん原作の映画『重力ピエロ』は、東北大学もロケ地になりました

伊坂幸太郎さん(1995年法學部卒)の『重力ピエロ』が映画化され、2009年4月から宮城県で先行公開されました。5月からは全国ロードショーとなります。映画化にあたっては、せんだい・宮城フィルムコミッションが協力して仙台ロケ。川内、青葉山、星陵、片平など、東北大学キャンパスもロケ地になりました。その一つが、医学系研究科・大隅典子教授の研究室。大隅教授は、この映画の見どころを次のように語っています。



撮影は数十人のスタッフによる見事なまでの分担・連携プレー(ロケ弁の配膳までもがとてもしびーデー!)で手際良く進みました。しかしながら1つのカットを撮影するにも幾度もカメラアングルを変えて撮り直すといった、とても根気のいる作業でした。研究室の撮影においては、食玩のフィギュアを試菜棚に置いたり、メモを記した付箋紙、さらには居酒屋の連絡先を壁に貼るなどの演出

写真提供：せんだい・宮城フィルムコミッション

『重力ピエロ』撮影風景



片平キャンパス食堂



青葉山キャンパス理学部講義室